

南魚沼市民病院

平成 29 年 6 月号

認知症疾患医療センターだより

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、人それぞれの、希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

基本方針

1. 市民の安全・安心を支える医療を提供します
2. 患者さん中心のチーム医療を推進します
3. 健康増進を目指し、予防医療の充実を図ります
4. 確かな知識と技術を有する心豊かな医療人を育成します
5. 良質な医療を継続するため、経営の健全化に努めます



記事 研修会のご案内

認知症相談室より「受診へのスマートな誘導について」
28 年度の実績

ちょっとした外出にも日やけが気になる季節になりました。今年の予報では 6 月後半から 7 月までは曇りや雨の日が多く、8 月は晴れる日が多くなるそうです。熱中症が急増するのは 7 月。日中の炎天下だけではなく体が暑さに慣れていない時期や湿度が高い、風が弱い環境では室内でも、夜でも多く発生しています。特に高齢の方にはこまめな水分摂取、早めのエアコン（扇風機）など積極的に声をかけていきたいものです。



7/29
(土)

福祉・介護・医療従事者のための認知症研修会

「自己点検ノートを通じて専門職に伝えたいこと」
～利用者・患者の自己決定支援のツール～

時間 午後 2 時～3 時半（受付／午後 1 時半～）

会場 南魚沼市民病院 2 階 多目的ホール

講師 （財）長寿社会開発センター審議役 石黒秀喜 氏

本人にどう伝える？ どうやって病院に一緒に行く？

ゴールデンウィークやお盆など久しぶりの帰省で、実家のご両親の様子の変化に気づくことはないでしょうか。当センターに来られる認知症の相談件数は毎年9月と1月がとて多くなります。おかしいなと気づいたときに、ご本人の気分を悪くせず「病院に行ってみてもいいかな」と思ってもらえる誘い方について例を示してみました。認知症については個々で受け止め方に違いがあります。下記を参考に工夫してみてください。

ケース1 病院に行きたがらないご本人

健診に行こうとすすめる



どこも痛くも
かゆくもない。病院なん
て行かない！

最近健診受けた？
脳ドックみたいな
健康診断ができる
んだって。一緒
に行ってみない？

＼ここがポイント！

- 「保険料を払っているだけじゃもったいないから行ってみない？」 「私もこの前健診に行ったよ。一緒に行くから受けようよ」という感じで誘う。
- 健康をテーマにしたテレビ番組を見ている最中に「健診に行ってみようよ」と切り出すのも効果的です

ケース2 病気を認めないご本人

ご本人のプライドを利用して



誰が認知症なのよ！？
馬鹿にしないで！！

私もそうは思わないけど、
何でもないことを証明して
もらいましょうよ。



＼ここがポイント！

- 本人は周囲に疑われて面白くない思いをしています。「私はそうは思わないけれど」と味方であることをきちんとアピールした上で、「みんながうるさいから、一度ちゃんと調べて、みんなの鼻をあかそうよ」と相手の自尊心に訴えるのもひとつの手です

かかりつけの医師にすすめてもらう

◎ 事前に家族が本人の様子をあらかじめ報告しておく！



母が最近おかしい
んです。認知症か
もしれません。先
生から受診を助言
してもらえませんか

分かりました、
次の来院のとき、
話してみましよう。



先生がそうお
っしゃるなら
行ってみま
しょうかねえ



紹介状を書く
から、
一度ちゃんと
見てもらいま
しょうよ！



やってはいけない2つの誘導方法！

① モノで誘導する

外食に行こう、などと誘っておいて病院へ連れて行くと本人のプライドを傷つけるばかりでなく、「だまされた」という根深い遺恨を植え付け、以降、家族への信頼が著しく低くなる可能性があります。

おいしいものを
食べに行こうよ



② 頭ごなし

理解力、判断力が低下している本人に対して、理詰めで正論を述べることは決して有効とは言えません。理解されないばかりか、反発や抵抗にあい、余計に話をこじらす結果になります。



ぜったい
認知症だから！



認知症の相談はお気軽に



受診前相談の ご案内

認知症のような症状があっても、ご本人が拒否されると受診が難しい場合があります。そのような場合、「受診前相談」といって、受診の前にご家族だけで来院していただくことで心配や困りごとを伺い受診のすすめ方や対応のしかたなどを一緒に考えていくことができます。認知症専門の相談員が対応いたします。

相談申し込み方法

まずは、お電話でご連絡ください
認知症疾患医療センター 代表 025 (788) 1222
専用 025 (772) 2604

相談場所

南魚沼市民病院 相談室

相談日時

月～金曜日（祝日・第3月除く）9時～17時
土曜日 9時～12時

相談費用

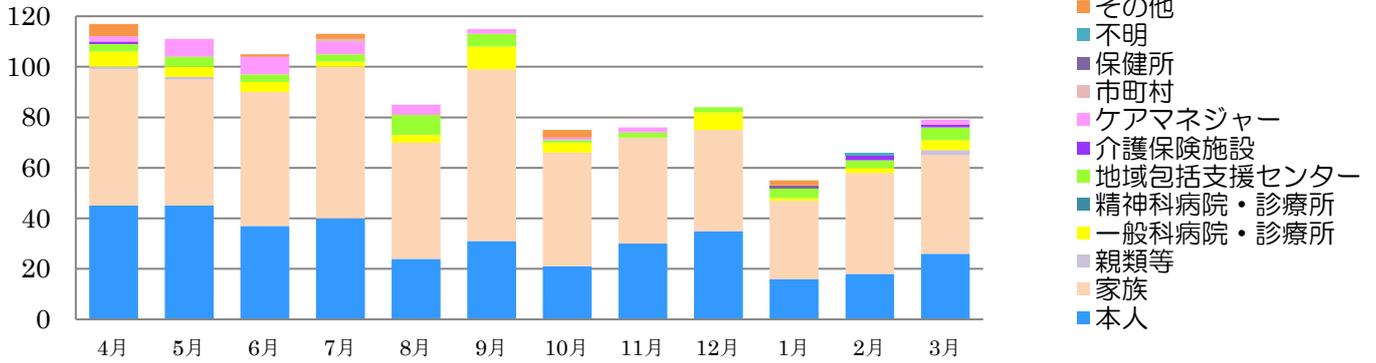
電話相談および
受診前相談は無料

面接相談： 30分以内 2000円（税込）
30～60分 3000円（税込）
60分以上 5000円（税込）

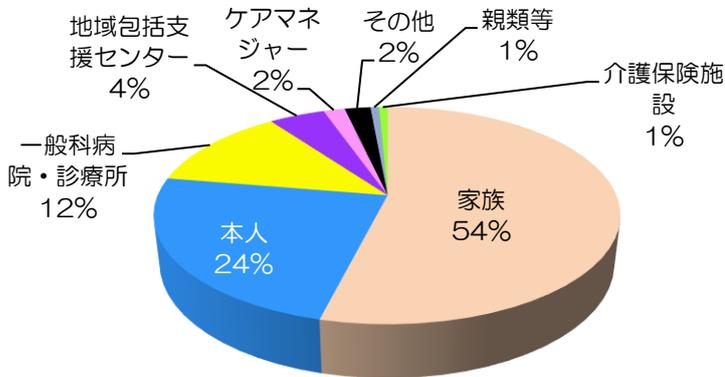
平成 28 年度の実績報告

1. 専門医療相談の状況

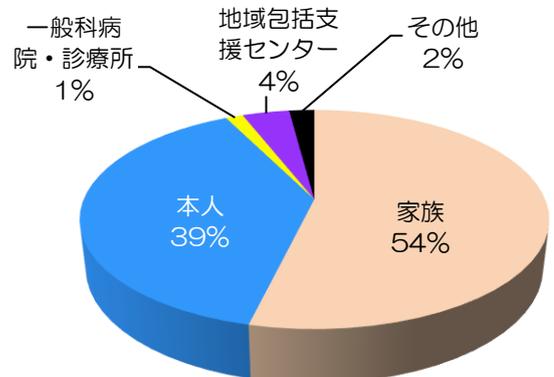
相談者と相談件数（月別）



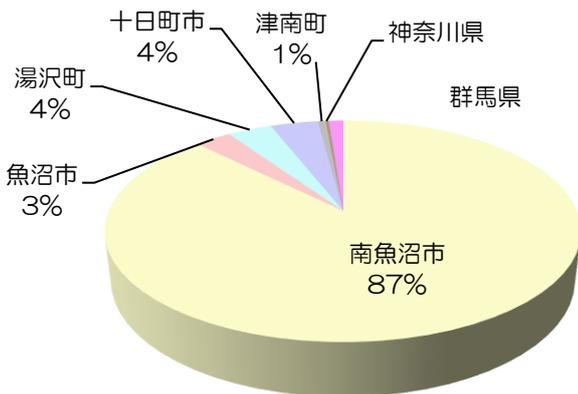
最初の相談者



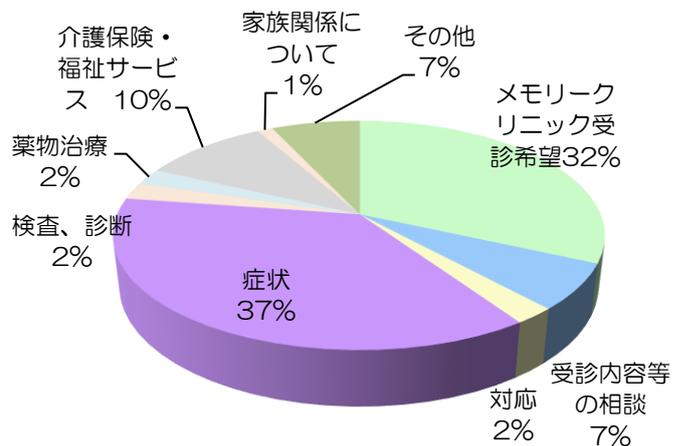
相談者（再来）



被相談者の居住地

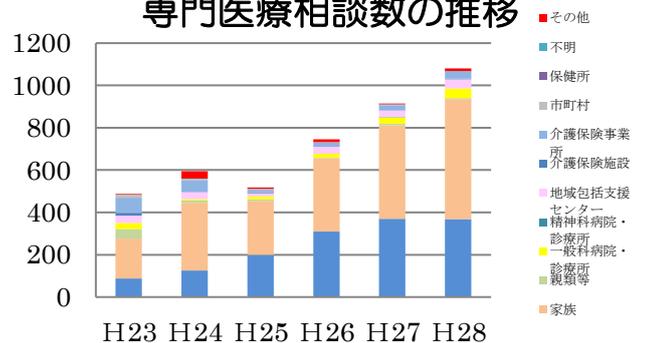


相談内容



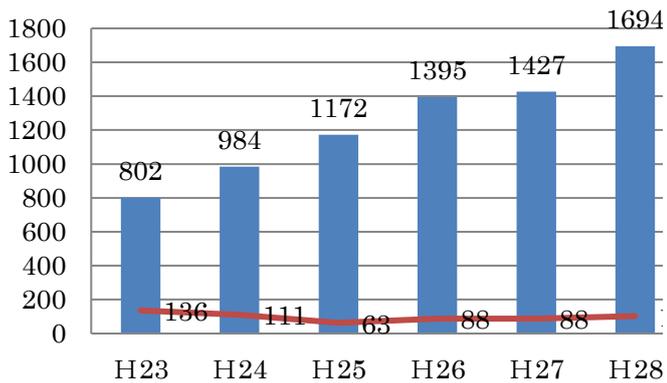
- ◇ 相談者数は延べ 1081 人(昨年 915 人)でした。
- ◇ 最初の相談者はご家族が 54%(昨年 43%)、ご本人が 24%(昨年 32%)で、ご家族からの相談が増加しました。
- ◇ 相談は例年冬季の相談が多い状況でしたが 昨年度は 春～夏の相談が全体の 6 割でした。
- ◇ 専門医療相談は新規月平均 21 件、全体では月平均 65 人です。相談内容は症状の相談、次いでメモリークリニック受診希望となっています。

専門医療相談数の推移

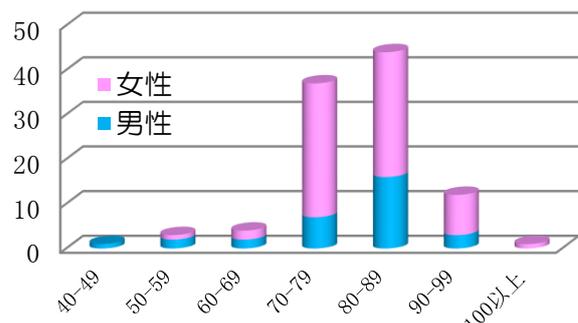


2. メモリークリニックの状況

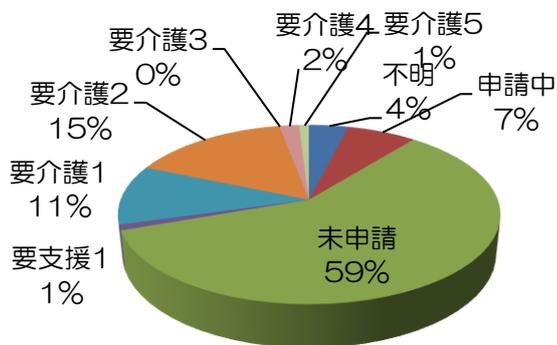
メモリークリニック外来患者数



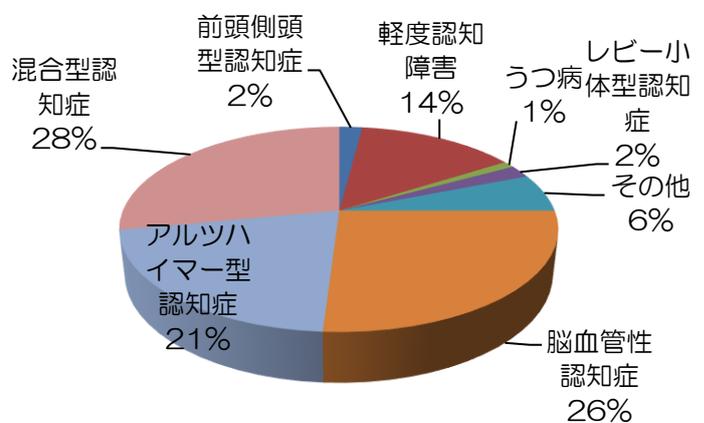
初診者の状況



要介護認定

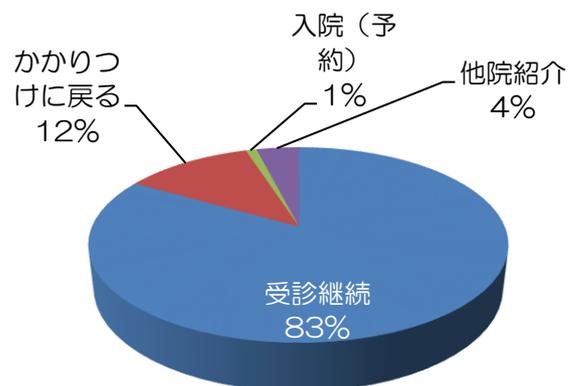


鑑別診断



- ◇ メモリークリニック受診者数は延べ 1694 人で、年々増加しています。
- ◇ 初診者は女性が男性より多く、平均年齢は 80.2 才(昨年 79.3 才)でした。年代では 80 代が最も多くなっています。
- ◇ 鑑別診断では混合型認知症 28%、脳血管性認知症 26%、アルツハイマー型認知症 21%でした。
- ◇ 受診者の約 6 割は介護保険(要介護認定)を受けておらず、認定を受けている方では要介護 1.2(軽度)が 9 割を占めています。

受診後の転帰



南魚沼市民病院認知症疾患医療センター

〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 2643 番地 1
 電話: 025-788-1222 (代表)
 電話: 025-772-2604 (直通)
 FAX: 025-772-2603

